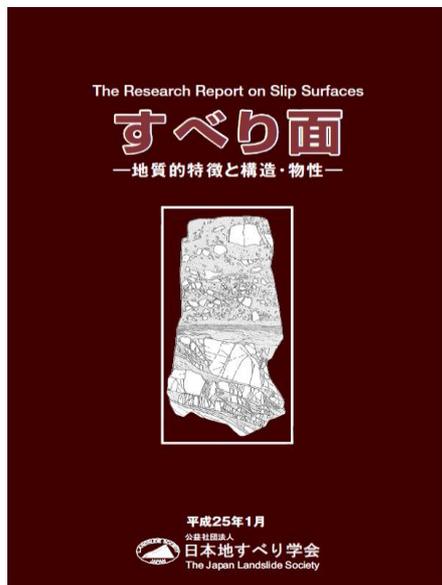


豊富なデータに基づき、すべり面の地質的特徴及び 構造・物性を体系的に取りまとめたすべり面科学の集大成



すべり面は地すべりの構造と運動を本質的に規定する不連続面であり、地すべりという現象を考察する上で最も基本的かつ重要な構成要素です。そもそも地すべりの機構の解明や地すべりの防止対策を検討するために、すべり面の性状を把握することが出発点となることは論を待ちません。すべり面は地下深部に存在するために、その性状を精確に把握することは容易ではありませんが、今日ではボーリングコアによるすべり面の判定は元より、地すべり対策工事と平行して実施された集水井内部におけるすべり面の直接観察の事例も蓄積されるようになってきました。一方で、繰り返し一面せん断試験やリングせん断試験による残留強度の計測、さらにすべり面せん断試験機の開発によるすべり面強度の直接計測等の事例が蓄積され、すべり面強度に関する知見が増大しています。

日本地すべり学会に設立された「すべり面委員会」の活動は2008年5月に始まり、3年間に及んでいます。

「すべり面委員会」では、地すべり学会誌に2002年9月(Vol.39, No.2)から2008年1月(Vol.44, No.4)までの長期にわたって掲載された「目で見るすべり面シリーズ」36件から地域性を考慮して30件を抽出した。それに加えて北海道地域から沖縄地域にいたるまでの未発表の資料も可能な限り発掘し、すべり面の地質的特徴及び構造・物性・強度等の実態について系統的な整理を行いました。

本書は、1章から4章までの本文とすべり面実態カルテから構成されています。1章では、すべり面の研究レビューとせん断帯の構造、すべり面の調査・観測手法について論説しています。2章では、北海道から沖縄までの10地域の地すべりの地形・地質的特徴と各地域で代表的な地すべりとすべり面の実態を説明しています。3章では、すべり面の物理特性及び強度特性を整理し、4章では今後の課題に言及しています。5章には本文の説明に供するため該当する地すべり箇所すべり面実態カルテが掲載されています。すべり面実態カルテには、地すべりの形態、平面図・断面図、すべりの写真・スケッチ、すべり面試料の試験・計測データ、参考文献など数々の情報を掲載しています。さらに付録(CD版)とし

すべり面

The Research Report on Slip Surfaces

—地質的特徴と構造・物性—

公益社団法人 日本地すべり学会

平成25年3月

ISBN978-4-902628-04-3-C3044

A4版, 180ページ, 6000円(税込み)

て、収集した51箇所の現場すべり面実態カルテを収めております。

地すべり学会誌にこれまでに掲載されたすべり面に関する研究論文や現場事例は多数あります。本書は、これまでに得られた知見の上に立ち、今回収集されたすべり面に関する豊富なデータに基づき、すべり面の構造・物性・強度等の性状に関する情報を体系的に取り纏めたものであり、地すべりに関わる研究者・技術者にとって有益な情報を提供するものであると確信しております。ぜひご一読されることを希望します。

本書は以下の構成からなっています。

1. 総論

- 1.1 既往のすべり面研究レビュー
- 1.2 地すべり分布と地すべりの分類
- 1.3 すべり面を含むせん断帯の構造
- 1.4 すべり面の調査方法
- 1.5 すべり面の観察方法

2. 地域別地形地質的特徴とすべり面の実態

- 2.1 北海道地域
- 2.2 東北地域
- 2.3 関東地域
- 2.4 北陸地域
- 2.5 中部地域
- 2.6 近畿地域
- 2.7 中国地域
- 2.8 四国地域
- 2.9 九州地域
- 2.10 沖縄地域

3. すべり面の実態に関する統計データ

- 3.1 すべり面の物理的性質
- 3.2 すべり面の強度特性
- 3.3 地質毎の統計データ

4. 今後の課題

5. すべり面の実態カルテ